

平成 27 年度

事業報告書

社会福祉法人ほのぼの苑

平成 27 年度事業概要

平成 27 年度は、介護報酬のマイナス改定により厳しい状況の中での事業運営でしたが、職員が自覚を持って経費の効率的な運用に努めた結果、事業収支をプラスとすることが出来ました。

利用者様の生き生きとした暮らしをサポートするための水分ケア、食事・口腔ケア、活動ケア、排泄ケア等について、職種間の連携を図りながら課題をもって取り組みました。活動ケアにおいては、新たに 365 歩のマーチに合わせて毎日 15 分間の歩行訓練を実施しました。食事ケアにおいては、利用者様に安全で衛生的な食事を提供するための福井県食品衛生自主管理プログラム認証を更新しました。

介護力向上を図るために、介護力向上講習会【福井分校】、認知症実践研修、各種研究会等への職員の受講、参加、苑内では、毎月の研修会や丹南保健福祉センターの出前講座、事例研究発表会等の開催、看護職による介護職の吸痰等の資格指導の実施等を行いました。

社会福祉法人に求められている「地域における公益的な活動」の一環として、地元のふれあいサロンや地域包括センター主催の認知症介護者のつどいを当苑で開催しました。また、地域ケア会議や地域福祉計画策定に係る住民懇話会等に積極的に参加しました。

当苑も平成 12 年 10 月に開設以来 15 年半が経過し、建物等の老朽化も進行していますが、本年度は、軽微な修繕にとどめました。設備機器については、冷蔵庫、大型ガス乾燥機等の入替を行いました。

平成 28 年度からは、新たな社会福祉法による社会福祉法人制度の改革が行われ、当苑も適切な対応を迫られている厳しい状況ではありますが、これからも、施設のご利用者、ご家族、地域の皆様に「ほのぼの苑でよかった」「ほのぼの苑がいい」と言われる施設づくりを目指して、職員一丸となって精進してまいります。

【事務グループ事業報告】

平成 27 年度、事務グループでは施設の環境整備と補修、業務の効率化とリスク対策に取り組みました。詳細は下記のとおりです。

なお、利用者状況等の数値に関しては別紙のとおりです。

項 目	内 容
環境整備 (設備機器更新、メンテナンス)	<ul style="list-style-type: none">・ 冷蔵庫の入替・ 大型ガス乾燥機の入替・ 車いす・ベッド・吸引器・トイレ便座・皮膚赤外線体温計等介護用品の購入・ エアマット・ストレッチャー・センサー等修理・ 厨房機器修理 (スチコン・殺菌庫・排水等)・ 外フェンス・給湯ボイラー・特殊浴槽修理・ 建物劣化部の補修・ 各種設備の点検整備を行った。
業務効率化とリスク対策	<ul style="list-style-type: none">・ 番号法に基づくご入所者の個人番号についてはこれを取得せず、通知を未開封のまま契約者 (身元引受人) に手渡しで受領頂いた。・ 9 割のご家族へ通帳の返還を完了。銀行の代金回収サービスの活用によりご入所者の預り金管理業務を効率化した。・ 通院運転業務の分散により、これに係る費用を削減することができた。・ 介護事故・けがの説明責任について、保険処理業務上家族から受けた反応や気づきをスライドにまとめ研究発表を行った。・ 学卒の早期求人・見学対応により、介護人材を確保することができた。・ がん職域検診の実施により早期発見に寄与した。・ 中央職業能力開発協会のキャリア診断を実施、「いきいきと働いているか」「成長できる職場か」従業員目線で診断し、組織としての課題分析をおこなった。また希望するスタッフには専門のキャリア形成サポーターによるカウンセリングを実施した。

利用者状況等報告

1.平成27年度 サービス別稼働率

	施設		短期入所		通所介護	
	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率
4月	3,290	99.70%	208	69.33%	246	55.91%
5月	3,316	97.24%	232	74.84%	256	60.95%
6月	3,195	96.82%	234	78.00%	310	70.45%
7月	3,349	98.21%	236	76.13%	323	70.22%
8月	3,333	97.74%	263	84.84%	273	65.00%
9月	3,153	95.55%	256	85.33%	284	64.55%
10月	3,245	95.16%	280	90.32%	269	61.14%
11月	3,181	96.39%	283	94.33%	286	68.10%
12月	3,330	97.65%	286	92.26%	238	59.50%
1月	3,338	97.89%	270	87.10%	242	60.50%
2月	3,173	99.47%	248	85.52%	267	63.57%
3月	3,383	99.21%	262	84.52%	280	60.87%
合計	39,286	97.58%	3,058	83.54%	3,274	63.45%
平成26年度	39,211	97.66%	3,463	94.88%	2,936	57.22%

2.市町別入所状況

平成28年3月31日現在

	南越前町			福井市	鯖江市	越前市		敦賀市	若狭町	美浜町	勝山市	合計
	南条	今庄	河野			武生	今立					
男	6	5	0	0	0	7	1	0	0	0	0	19
女	28	21	3	2	1	28	0	3	2	0	1	89
合計	34	26	3	2	1	35	1	3	2	0	1	108

3.年齢別状況

平成28年3月31日現在

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男	0	1	1	2	6	7	1	1	0	19
女	0	2	2	5	7	28	29	13	3	89
合計	0	3	3	7	13	35	30	14	3	108

全平均 87.8歳(男:82.9歳、女:88.9歳)

最高齢101歳、最年少65歳

4.介護度別

平成28年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定更新中	合計
男	0	3	6	7	2	2	20
女	1	8	23	31	25	0	88
合計	1	11	29	38	27	2	108

平均要介護度 3.74 (昨年度3.79)

5.在苑期間別

平成28年3月31日現在

	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～5年	5年～7年	7年～10年	10年～15年	15年以上	合計
男	1	1	9	3	2	2	1	1	0	20
女	7	4	8	7	22	19	15	3	3	88
計	8	5	17	10	24	21	16	4	3	108

平均在所期間:5年1ヶ月

【 介護グループ事業報告】

介護グループでは、それぞれの707の特色を生かしたケアが展開され、利用者の方が日々快適に、より満足できるケアを提供出来るように多職種と連携をとりながら援助しました。

項 目	内 容	備 考
介護力向上（自立支援）	<p>【水分摂取】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日 1500ml 目標に飲める工夫 ・ 毎日の水分量の記録 <p>【食事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事形態のレベルアップ <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の生活の中でのリハビリ ・ グループリハビリ、苑内の活動等 ・ 毎日の歩行訓練（365歩のマーチ） <p>【排泄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オムツを使わない生活で快適に過ごせるよう援助 	<p>好みの飲み物 持ちやすい容器</p> <p>刻み食の見直し</p> <p>生活リハビリ</p> <p>11:15～全員</p> <p>トイレやトイレ介助</p>
楽しみのある活動	四季折々の行事を企画し利用者の方に楽しんで頂いた。家庭的な雰囲気により個別の関わりを持つためにも少人数での外出援助を実施。	流しそうめん バーベキュー 運動会、菊人形見学
個別ケアの充実	利用者の方との関わりに重点を置くためにも家族の方が積極的にケアの中に入れるよう環境を設定する。ふれあい報告書を使い課題分析しケアの方向性を決める。また、報告書をツールに家族の方とのコミュニケーション情報の共有を行った。	ふれあい報告書
ミーティングの充実	出来るだけ多くのスタッフが参加し、申し送りと共に早急に検討が必要な課題についての話し合いの場を設けている。業務改善や個別のケアに関しても「まずはやってみる」を心がけた。	毎日 13:45 分～
事故防止対策	事故を未然に防ぐ為の観察力を高めようと利用者一人一人のリスクや特徴を記録しスタッフ全員が共有できるように努めた。	個別リスク表
接遇マナーの向上	利用者の方に対して常に敬う気持ちを大切にスタッフがお互いに注意し合い接遇の向上に努めた。	

【 看護グループ事業報告】

現入所者の健康状態の変化に適切な医療やケアを受けれるよう日頃から他職種との情報共有・協働・看護の質の向上等を重視して活動してきたので報告します。

項 目	内 容	備 考
連携 (介護) (他施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職の吸痰等の資格指導 (苑内) ・吸痰有資格者の支援と実践 ・事例研究 ・リーダ-会議 2回参加 ・医療連携実務担当者の情報交換会 ・丹南保健福祉センター 保健師 ・老施協 看護研究委員会 	5名 (20名) すいせんF 林 HP 主催 1回/月 役員 8回
看取り介護	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度介護報酬改定により看取り介護加算が評価され苑での看取り者も年々増加している 看取り委員会を中心にPDCAの検証もされている 偲びのカンファや偲びの手紙が定着してきた 	H27年度 15名中12名が 苑での看取り
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議 (苑内) ・ " (苑外) ・病状説明 ・看取り介護 ・HP受診後の報告 ・日々の様子報告 	日赤・他施設 新規入所者
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症について ・認知症のコミュニケーション ・高齢者の皮膚疾患 ・老施協 研究発表 ・胃瘻について ・感染症 (ノロ) ・地域医療福祉講座 	林HP主催 2回 すこやかシルバー 武生医師会 2回 外部講師 外部講師

【 企画グループ事業報告】

利用者の方の「自立支援」をケアの基本とし安全と快適な暮らしを提供できるよう多職種が協働で取り組んだ。また「地域における公益的な活動」の一環としてふれあいサロンや認知症家族の会をほのぼの苑で開催し地域の方との交流を深めた。

項 目	内 容	備 考
認知症介護者のつどい	地域包括支援センター主催による「認知症介護者のつどい」をほのぼの苑にて開催し、認知症ケアについて苑の現状報告と取り組みを紹介し、その後家族の方たちと座談会を開催した。	27/10/17 実施
ふれあいサロンに参画	地元のふれあいサロンの方を苑に招き、利用者の方や職員も一緒に歯科衛生士による「口腔機能の向上」についての話を聴く。口腔機能の向上を図るとともに、地域の方との交流を深める事が出来た。	口腔ケア委員会主催
事故防止対策について	安全に対して配慮すべきことを常に意識しながらケアが出来るように、またご家族の方とそれぞれの利用者の方のリスクの共有を図る為に個別リスク表を作成し掲示した。	事故防止対策委員会
認知症ケアについて	2ヶ月に1回、委員会を開催し困難事例の検討や利用者の立場で考えていけるよう研修を計画を立案する。	28年度認知症研修計画立案
看取り介護について	ご家族に対して看取りに関するアンケートを実施し、家族交流会にて苑での看取りの現状と事例を合わせて報告を行った。	家族アンケート実施
相談援助業務	ご利用者やご家族からの相談に対しての相談援助を行った。また、利用者の入院先医療機関からの退院後の受け入れに等に関しての相談対応（看取り介護を含む）やかフェリスにも参加し退院後の受け入れ準備を行った。	
入所順位調整委員会	平成27年度の新規入所申し込みは41名であった。既に申込まれている方も含め現在の入所申込者数は110名～120名である。毎月、第三者委員も参加し入所順位調整委員会を開催し、空が出た場合の入所者を決める。平成27年度の入所者は13名で退所者は15名であった。	毎月開催

【調理・管理栄養グループ事業報告】

調理、管理栄養グループでは、27年度‘喜ばれる食事の提供’と‘安心安全な食事の提供’を目標に取り組みました。

項 目	内 容	備 考
選択メニューの実施	月1回 夕食時の主菜を選んでもらい実施	
行事食、バイキング の実施	デイサービスやフロアにて昼食バイキングや間食にデザートバイキングを実施。また季節の行事にあわせて 行事食を提供。	
HACCP 認証の更新	安全で衛生的な食事を提供するため 県の推奨する県版ハサップ（21年度認証取得）の更新ができるよう取り組んだ。	

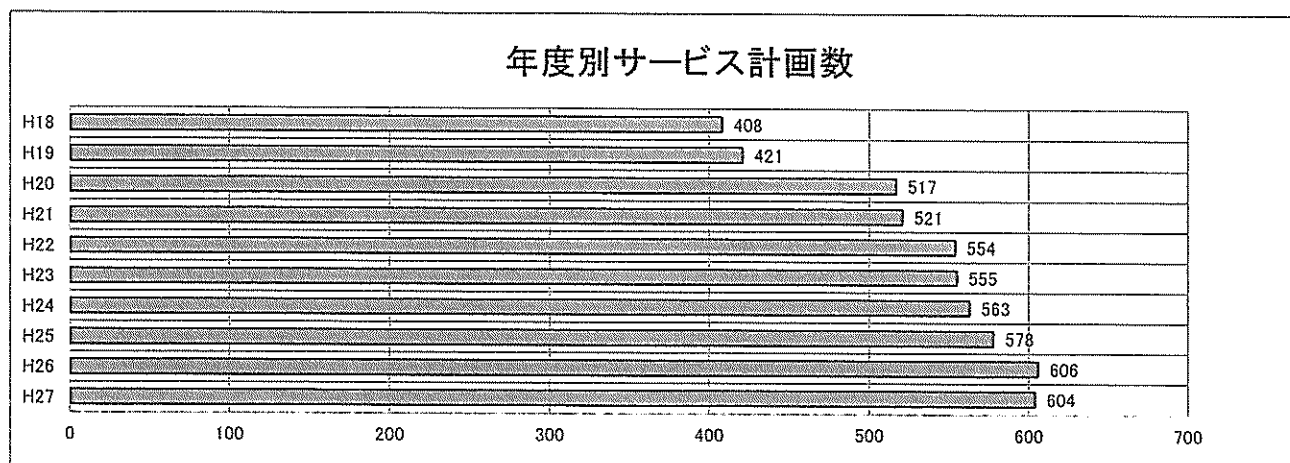
【居宅支援グループ事業報告】

今年度、居宅支援グループにおいて、居宅支援事業では『ケアマネジメント業務の責任を持つ』通所介護事業では『丁寧なケアを行う』を目標とし、下記の事を重点的に実施した。なお具体的な利用者状況等に関しては別紙のとおりである。

項目	内容	備考
【居宅介護支援】 相談援助	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症者、高齢者2人世帯者のケースが増え、他機関との連携に努めた。 ・医療機関との連携が必要なケースが増えた。 ・通所施設に特色のある施設が増え、利用者意向に沿った支援が実施できた。 ・法改正に伴う相談援助対応・・・小規模多機能居宅介護や地域密着型通所介護への移行対応を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症度Ⅲ以上の割合 当事業所支援者の約40% ・入院時医療連携ケース増 県・市町における入退院支援会議へ参加 ・小規模多機能『ここの』 H28～地域密着型通所介護移行
給付管理	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬改定年度であった。 ○認知症加算が居宅介護支援費に包括された。 認知症支援が介護支援専門員の基本業務として評価された。 ○一定以上の所得者の利用者負担の見直しにより、昨年8月より【2割負担】となった。介護保険負担割合証の確認やサービス見直し(減・変更等々)の対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス計画数 ほぼ前年どおり(604件) ・居宅介護支援費 介1～2：10,050⇒10,420円 介3～5：13,060⇒13,530円 支1～2：4,140⇒4,300円 ・2割負担者について 当事業所支援者に4ケース
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・南越前町ケアマネジャー連絡会・地域ケア会議へ継続的に参加し地域包括ケア体制整備に資する様努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は地域ケア会議の構成員を受諾。
会議・研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の定例会では担当事例検討や業務改善について継続的に実施した。※随時OJT実施。 ・認知症のケアマネジメントとして、アセスメント時の視点、ご本人の生活意向の確認・引き出し方、更には介護力の乏しいケースに関しては、自宅で生きる事の支援として地域資源の活用等に課題がある事を再認識した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28目標・・・『次に活かせるモニタリング力をつける』
【通所介護】 通常業務	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症実践者研修受講 ・職員間で状態把握、ケア方法統一 ・事故防止のための見守り体制の検討、強化 ・本人の希望、家族意向を照らし合わせ対応検討、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講者:2名 ・事故件数:転倒(-4件) ・ひやりはっと:(-1件)
行事と活動	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での短時間外出実施 ・定期的に母体施設と『集団レクリエーション』を実施。交流活性化を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブ、カラオケ、体操

平成27年度 居宅介護支援事業報告別紙

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
1 要介護認定・更新・変更代行申請	3	4	6	2	5	1	4	2	3	2	1	5	38	38
2 要介護認定訪問調査	2	4	6	2	3	0	4	2	3	2	0	3	31	32
3 新規居宅サービス計画作成届出者	1	2	3	1	0	0	0	1	1	3	3	1	16	17
4 新規居宅介護支援契約者	1	2	3	1	0	0	0	1	1	3	2	2	16	17
5 ケアマネジメント(介護プラン作成)	40	41	48	47	46	41	43	40	40	41	43	44	514	531
未認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	10	11	17	16	13	12	13	12	13	14	14	15	160	148
要介護2	18	18	19	19	19	17	16	16	16	16	16	17	207	210
要介護3	8	8	8	9	10	9	9	9	8	8	9	8	103	120
要介護4	3	3	3	2	3	2	3	2	2	2	3	3	31	39
要介護5	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	13	19
初回加算	1	1	3	2	1	0	2	0	2	3	0	3	18	19
退院・退所加算(3回まで可)	0	1	3	0	2	0	3	1	0	0	5	3	18	23
入院時情報連携加算 I・II	3	0	1	1	4	1	3	1	1	2	2	3	22	17
緊急時等居宅カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 ケアマネジメント(予防プラン作成)	9	7	6	7	7	7	8	8	7	8	8	8	90	75
要支援1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	30	16
要支援2	7	5	4	5	5	5	5	5	4	5	5	5	60	59
初回加算	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	6
7 住宅改修理由書作成・サービス費支給代行	0	1	1	2	0	0	1	0	0	1	0	0	6	7
8 福祉用具購入理由書作成・サービス費支給代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	6
9 福祉用具貸与と特例理由書作成	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5
10 ケアマネージャー連絡会(南越前町)	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	9	10
11 研修参加(苑内外)	2	1	1	1	1	3	0	2	0	0	0	1	12	7
12 事業所内検討会議(母体間会議は除く)	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	7	11
13 ケアカンファレンス	3	6	5	5	5	7	1	7	3	7	6	3	58	63
14 介護保険以外サービス代行申請	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	7	16
15 外部ケアマネージャーからの相談	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
16 居宅支援者以外相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
17 苦情要望対応(ひやりハットも含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



その他

- ・納涼祭…7月24日
- ・情報公表調査…8月19日
- ・家族交流会…10月10日
- ・事例研究発表会…12月11日
- ・地域ケア会議への参加…9・3月
- ・入退院支援合同会議(丹南圏域)…10・1月
- ・多職種連携会議(越前市と合同)…6・11月

＜H27年度 通所介護利用状況＞

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比																
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女														
利用者		68	178	66	190	90	220	87	236	77	196	77	207	64	205	73	213	65	173	72	170	73	194	76	204	888	2386	+10	+328		
計		246	256	310	323	273	284	269	286	238	242	267	280	3274	+338																
介護度	要支援1	7	0	6	0	8	0	8	0	12	0	13	0	11	0	12	0	8	0	8	0	8	0	8	0	109	+21				
	要支援2	7	21	7	20	8	22	8	22	6	22	8	19	6	13	7	21	8	22	8	22	7	24	9	24	341	+48				
	要介護1	34	56	31	72	44	78	44	78	38	67	26	54	25	44	25	53	24	56	24	52	29	59	34	45	1092	-139				
	要介護2	20	51	16	45	27	82	27	82	21	72	30	89	22	94	29	89	17	64	22	52	21	71	16	92	1151	+558				
	要介護3	0	46	0	49	0	50	0	50	0	31	0	40	0	50	0	46	8	28	10	40	8	36	9	38	539	-62				
	要介護4	0	4	6	4	0	4	0	4	0	4	0	5	0	4	0	4	0	3	0	4	0	4	0	5	55	-45				
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
移動手段	車椅子	18	26	16	30	22	35	19	24	15	17	21	13	15	13	22	17	21	13	27	20	21	24	26	23	498	-89				
	シルバーカー	0	67	0	67	0	73	0	64	0	47	0	53	0	74	0	60	0	34	0	46	0	40	0	49	674	+37				
	歩行器	6	7	7	7	7	5	8	10	8	3	8	2	6	1	7	3	8	1	8	1	7	0	9	1	130	-6				
	杖	30	28	23	29	27	43	27	49	25	43	29	49	26	42	27	43	22	42	28	38	29	36	40	32	807	+170				
入浴形態	特浴者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	+1
	中間浴者	0	16	0	19	0	22	0	16	0	7	0	7	0	13	0	17	0	19	0	20	0	24	0	23	203	-5				
	シャワーチェア使用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-135	
食事形態	ミキサー食	0	4	0	4	0	5	0	4	0	4	0	5	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	5	51	+3				
	キザミ食	4	35	4	38	5	29	4	26	4	20	5	18	4	27	8	21	12	7	13	8	17	8	18	9	344	+31				
食事介助者		0	4	0	4	0	5	0	4	0	4	0	5	0	4	0	0	0	4	0	4	0	4	0	5	47	-30				
稼働率(平均%)		55.9	60.9	70.5	70.2	65	64.5	61.1	68.1	59.5	60.5	63.6	60.9	63.4	6.2																
新規利用		1	1	2	1	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16	±0				
事故件数(転倒、骨折)		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	4	-4																
ひやりはっと件数		0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	0	6	-1																